

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地	
専門学校 ちば愛犬動物 フラワー学園		平成11年3月29日		西村 壽		〒260-0021 千葉県千葉市中央区新宿2-14-13 (電話) 043-242-0511	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地	
学校法人 中村学園		昭和41年8月15日		中村 洋子		〒260-0021 千葉県千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467	
分野	認定課程名		認定学科名			専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程		動物管理科ドッグトレーナーコース			平成28年文部科学省告示 第45号	
学科の目的	本校は、教育基本法および学校教育法に基づき、動物の飼育看護及び植物の育成に関する知識、技能を修得させると共に、動植物の愛護の精神に深い理解を持つ、生命を慈しむ人間教育を行い、広く社会に貢献させ、国際感覚に富む教養を備えた社会人を育成し、社会、業界に寄与することを目的とする。						
認定年月日	平成29年2月28日						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1904 時間	350 時間	687 時間	867 時間	0	0
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数
400人		479 人		2 人	24人の内数4人	113人の内数11人	137人の内数15人
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 A(優)、B(良)、C(可)、R(認定)、F(不認定)とし、定期試験、出席率、授業態度等を総合的に評価する。		
長期休み	■夏 季:8月1日～8月31日 ■冬 季:12月26日～1月5日 ■春 季:3月21日～4月10日			卒業・進級 条件	①その年度の履修単位を取得すること。 ②各学年昼間部は年間800時間以上、夜間部は年間450時間以上出席すること。 ③卒業判定に関しては成績並びに出席状況を卒業判定会議で確認し、卒業要件を満たした者を卒業と認める。		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任による学生個人面談、カウンセラーによるカウンセリング、入学前保護者会や年度末保護者会の実施。			課外活動	■課外活動の種類 ・小学生対象お仕事体験のイベントスタッフ ・宿泊研修、その他ボランティア活動等		
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) トリミングサロン、ペットショップ、動物病院、動物テーマパーク			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■成績表: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和5年度卒業生に関する令和6年5月1日時点の情報)		
	■就職指導内容 学科専任の就職指導担当を配置し、個々のカウンセリングを行う。就職ガイドやビジネストレーニングのビジネス教養科目、年数回の就職セミナーにて就職指導を行っている。						
	■卒業者数 220 人						
	■就職希望者数 214 人						
	■就職者数 209 人						
■就職率 : 95.0 %							
■卒業者に占める就職者の割合 : 95.0 %							
■その他							
令和5年度卒業生に関する 令和6年5月1日時点の情報							
中途退学 の現状	■中途退学者 38 名 ■中退率 7.8 % 令和4年4月1日時点において、在学者489名(令和4年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者451名(令和5年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の原因 ・進路変更 ・経済的に困難である為 ・身体的または精神的な理由により学園生活が困難である為						
	■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任制による学生管理 ・カウンセラーの設置 ・保護者との連携(保護者説明会実施。出席状況、成績表通知。) ・学生診断資料、調査アンケートを活用し、不適応者の早期発見・進路変更者との担任面談(進学・就職情報の提供等)						
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 ・特待生制度:年間成績・出席率など1年間の総合的な成績結果、学習意欲や貢献度などを元に判定し授業料の一部を減免。 ・ひとり暮らし応援制度:親元を離れてひとり暮らしをする学生に対し、2年進級時に家賃の一部として補助金を支給。 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載						
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)						
当該学科の ホームページ URL	http://www.aik.ac.jp/						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・教育課程編成委員会を年度に2回開催し、外部企業委員と次年度のカリキュラム改善等の意見交換をする。
- ・各コースに特化した専門部会を年2回開催し、企業からの派遣講師を含めてカリキュラムに関する意見交換をする。
- ・ペット美容&ショップ、動物病院、飼育・訓練、乗馬、フラワービジネス等、動物及び植物関連の業界の最新動向を調査分析し、各業界の第一線で即戦力として通用する人材育成プランや教育方法を研究する。
- ・現行カリキュラムの評価を行い、現代社会に適合した授業科目の改善案や新規導入案を提言する。
- ・業界に関する授業を導入し、動植物企業より技術者、人事担当者等を招いて授業を展開する。
- ・動植物企業と提携した外部イベントとインターンシップ活動を連携させ、幅広い視野と思考を身に付ける環境を設ける。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

委員会は校長又は副校長により召集され、教科担当の責任者から現行カリキュラムの説明と次年度へ向けての改善提案に対して、企業等の委員からの助言や修正意見等の集約を図る。それらの意見を参考にマネージャー会議で審議し、職員会議で説明して、校長又は副校長が次年度カリキュラム等改善策として決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年5月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
松原 賢	マツハラプロジェクト マネージャー	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	①
祖一 俊介	株式会社AHB	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	③
小林 正希	株式会社COREZON 代表取締役社長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	③
細田 信幸	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 顧問	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	③
千葉 山	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業本部長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	
小園 達郎	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 就職室室長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年度内に2回開催(原則、毎年9月・3月)

(開催日時)

第1回 令和6年9月11日 10:00～12:00

第2回 令和7年3月10日 10:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

委員から意見として、教員数を増やすことが容易ではない中で、いかに学生教育を行うかがカギとなってくる。教員をサポートしてくれる学生を作ること、習ったことを教える機会を創出されることで理解が深まるだけでなく、後輩にとっては教員より身近な先輩から教えを乞うことができるメリットがある。今後先輩と後輩を組み合わせるバディ制度などを取り入れるを検討する。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実習、演習等において実践的かつ専門的な能力を育成するため、産学連携においては最新の理論及び技術を積極的に導入している企業との連携を基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

講師業務委託書と契約時間割に基づいて、各専門分野の実習授業等(プロトリング・ドッグトレーニング・しつけトレーニング・キャットトレーニング・騎乗トレーニングなど)を企業より派遣の講師が担当する。実習授業での技術試験や筆記試験、平常点を総合して各科目ごとでA(優)、B(良)、C(可)、F(不認定)の評価を実施する。週単位での授業内容確認と、反省における打ち合わせを担当教員、講師間で行う。また、年に2度、講師会議を開催し各専門分野の分科会を実施し授業運営方法、内容について共有、議論する。

(3)具体的な連携の例 ※科目数については代表的な4科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
業界インターンシップ	動物病院やペットショップ、動物関連施設にてインターンシップを行い、現場のサービスを学ぶ。	イオンペット株式会社 キャットオアシス 遠藤警察犬家庭犬訓練所 株式会社コジマ ノーザンホースパーク
グルーミング実習2	1年次に学んだ基本的な技術を基礎に、多種多様なペットカットへ応用する。それぞれの犬種に合わせたペットカットスタイルを学び、AAVサロントリマー検定1級を1つの目標として、技術取得の為の実習を行う。一般モデル犬やブリーダー外部犬を用いる事で、接客や対応法、時間を意識した技術等を学ぶ。	ペットハウスミミ
ドッグプレイニング	ドッグトレーナーとして動物愛護と適正飼養に関する専門的指導員の養成を目的にこれに答えられる精神、知識、技術、を身につけるための知識を習得する。	株式会社COREZON
テーマパーク演習	小動物園(本校)で飼育していない動物の扱い(大動物を含む)・エサの管理方法を学ぶ。実際のテーマパークでの接客と動き方 ふれあい、おやつあげ補助についての知見を深め、広い飼育スペースでの管理方法と日常でのルーティンについて理解する。	東京ドイツ村 市原ぞうの国
騎乗トレーニング	乗馬の基礎の修得 馬の動きに対する知覚力を身につける。馬とのコミュニケーションのとり方、マナー及び馬との信頼関係を築く。	MerryGo有限会社

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学校研修については当校の教育理念である「動植物を愛し心豊かな社会づくりに貢献できる人間の育成」を根本とし、パートナーアニマルの健全な生活環境、万全な健康管理、本来の美しさとしっかりとした躰を確立する為、また育成管理している植物の自然美を最大限に引き出す為、年度初頭に各チームが年間研修計画を立て、技術的な内部研修や専門業界団体が主催する外部セミナー等の受講を推進し、更なる技術と指導力の向上を図る。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

○PEIA認定インストラクター研修

対象:全教職員

期間:2023年4月6日・7日

内容:一社)ペットエステティック国際協会(PEIA)の認定するインストラクター取得の為の研修

主催:一般社団法人 ペットエステティック国際協会ジャパン

○トリミング教員研修

対象:全教職員

期間:2023年8月2日

内容:加盟校の教員に対する、指導力向上のために研修

主催:一般社団法人 全国動物専門学校協会

○JKC審査員 教員研修会

対象:全教職員

期間:2023年8月17日

内容:プードルのスタンダード改定に伴い、各種資格試験や競技会の規定変更の周知を目的とした研修

主催:一般社団法人ジャパンケネルクラブ

○乗馬指導者資格養成講習会

対象:全教職員

期間:2023年9月4日-6日

内容:「乗馬会の現状について」「乗馬指導者の心得」「実技講習」「救急救命について」「馬学(装蹄について)」「部班の号令について」「安全対策について」「馬学(防疫等)」

主催:公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

○教員研修会 対象:全教職員 期間:2023年11月17日 内容:基礎栄養学・体重管理・皮膚被毛について 主催:一般社団法人ジャパンケネルクラブ ○引退競走馬の講習会 対象:全教職員 期間:2023年12月19日 内容:引退競走馬でリオデジャネイロオリンピックの総合馬術競技への出場を果たしたボイド・マーティン選手を講師として招き、引退競走馬を乗馬や馬術へ転用・調教する上での知識と技術について、また今後の引退競走馬の更なる活躍と転用促進を学ぶ。 主催:公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会 ○ペットBLS検定 対象:全教職員 期間:2024年2月22日 内容:心肺停止の犬と猫に対する一時救命処置(BLS)トレーニング講習 主催:一般社団法人 日本ペットBLS防災学会 ○服部幸webセミナー 猫の医療の最新情報2024 対象:全教職員 期間:2024年3月23日 内容:ここ数年で誕生した新しい猫の医療について 主催:服部幸セミナー運営事務局 ○乗馬指導者更新講習会 対象:全教職員 期間:2024年3月26日 内容:馬の調教法、乗馬中の救命救急指導 主催:千葉地区乗馬倶楽部振興会
②指導力の修得・向上のための研修等 ○あなたの講義を差別化するパラダイムシフト 対象:全教職員 期間:2023年9月1日 内容:感動を生む授業には法則がある。その法則を「パラダイムシフト」という。この「パラダイムシフト」を取り入れた教案の作り方をマスターする。 主催:株式会社アビリティトレーニング
(3)研修等の計画 ①専攻分野における実務に関する研修等 ○D.I.N.G.O.プロコース 対象:全教職員 期間:2024年4月29日 内容:しつけ教室運営方法の実技と講習 主催:(有)DORG ○服部幸webセミナー 猫のトレーニング 対象:全教職員 期間:2024年6月1日 内容:猫のトレーニング方法について 主催:服部幸セミナー運営事務局 ○引退競走馬のリトレーニング講習会 対象:全教職員 期間:2024年7月5日 内容:持田裕之氏による『ナチュラルホースマンシップを取り入れた引退競走馬のリトレーニング講習会』 主催:公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会 ○JKC 義務研修会 対象:全教職員 期間:2024年9月12日 内容:パピークリップⅡの実技講習 主催:一般社団法人ジャパンケネルクラブ

○JKC 義務研修会
対象:全教職員
期間:2024年11月19日
内容:テリアのブラッキング(長脚テリア・短脚テリア)
主催:一般社団法人ジャパンケネルクラブ

②指導力の修得・向上のための研修等

○保護者対応研修
対象:全教職員
期間:2024年6月26日
内容:保護者からの相談やクレームの初期対応の重要性を知り、クレーム対応力を身につける。
主催:株式会社システムブレン

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価委員を年度に2回開催し、企業人、学識経験者、卒業生等からの第三者視点より学校運営の評価を行い、客観性、透明性の高い健全な学校運営を継続することを目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	・学校の理念・目的・育成人材像 ・学校における職業教育の特色 ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想 ・学校理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等の学生・保護者等への周知 ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けての方向性
(2)学校運営	・目的等に沿った運営方針の策定 ・運営方針に沿った事業計画の策定 ・運営組織や意思決定機能の明確化、有効性 ・人事、給与に関する規程等の整備 ・教務、財務等の組織整備等の意思決定システムの整備 ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制の整備 ・教育活動等に関する情報公開 ・情報システム化等による業務の効率化
(3)教育活動	・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等の策定 ・教育理念、育成人材像の業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の明確な確保 ・学科等の体系的なカリキュラムの編成 ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等 ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等 ・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)の体系的な位置づけ ・授業評価の実施・評価体制 ・職業教育に対する外部関係者からの評価 ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準の明確化 ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけ ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員の確保 ・関連分野における業界等との連携において優れた教員の確保をする等のマネジメント ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の育成等資質向上のための取り組み ・職員能力開発のための研修等
(4)学修成果	・就職率の向上に向けた取り組み ・資格取得率向上に向けた取り組み ・退学率低減に向けた取り組み ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価の把握 ・卒業後のキャリア形成への効果を把握した学校の教育活動の改善への活用

(5)学生支援	・進路・就職に関する支援体制の整備 ・学生相談に関する体制の整備 ・学生に対する経済的な支援体制の整備 ・学生の健康管理を担う組織体制 ・課外活動に対する支援体制の整備 ・学生の生活環境への支援 ・保護者との適切な連携 ・卒業生への支援体制 ・社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備 ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組み
(6)教育環境	・教育上の必要性に十分対応するための施設・設備の整備 ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等についての十分な体制 ・防災に対する体制の整備
(7)学生の受入れ募集	・適正な学生の募集活動 ・学生募集活動における教育成果の正確な伝達 ・学納金の妥当性
(8)財務	・中長期的な学校の財務基盤の安定性 ・予算・収支計画の有効性、妥当性 ・財務についての適正な会計監査 ・財務情報公開の体制の整備
(9)法令等の遵守	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営 ・個人情報に関し、その保護のための対策 ・自己評価の実施と問題点の改善 ・自己評価結果の公開
(10)社会貢献・地域貢献	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献 ・学生のボランティア活動の奨励、支援 ・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等の積極的な実施
(11)国際交流	・留学生の受け入れ・派遣についての戦略 ・留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等においての適切な手続き等 ・留学生の学修・生活指導等についての学内における体制の整備 ・学修成果が国内外で評価される取り組み

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

・外部委員より指摘のあった3-3について動物看護科のみで作成されいるカリキュラムツリーを、動物管理科、植物管理科に於いても作成することを検討。
・外部委員より指摘のあった卒業生の支援体制に関して卒業生の動向をより多く確認できる体制を強化し、就職先の企業と連携を図っていくこととした。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和6年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
安部 喜方	株式会社花門フラワーゲート 専務取締役	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	企業等委員
芹澤 尚義	公益社団法人千葉県獣医師会	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	企業等委員
小林 正希	株式会社 COREZON 取締役 副社長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	企業等委員
根本 美輝	株式会社バイエフエム	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	学校関連企業
長谷川 大	株式会社ニッセイアド	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	学校関連企業
黒川 智洋	株式会社スワット 代表	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	学校関連企業
富田 祥史	卒業生代表	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	卒業生

鈴木 唯花	卒業生代表	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	卒業生
船倉 千代子	近隣住民代表	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	近隣住民

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他() 公表年月日 2024年6月30日
URL: http://www.aik.ac.jp/

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
・定期的な企業訪問を実施して学校の現状報告、新設コースや新規授業等の情報提供をすると共に、学校概要と就職関連情報が一体となった刊行物を動植物企業に配布し学校運営の現状を把握していただく。
・ホームページにて各情報の公開を行う。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学園の経営方針、学校の教育目標、学校の歩み、所在地、連絡先
(2)各学科等の教育	カリキュラム、学校行事、学生数、退学率
(3)教職員	教職員数、講師数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	進路指導、卒業後の進路、主要検定合格率
(5)様々な教育活動・教育環境	施設・設備、SAM活動(授業外の学生活動)
(6)学生の生活支援	遠隔者支援、アパート斡旋、危機管理
(7)学生納付金・修学支援	納付金に関すること、就学支援金、授業料免除、奨学金
(8)学校の財務	学園の財務状況
(9)学校評価	自己評価の結果、学校関係者評価の結果、改善方策
(10)国際連携の状況	留学生受け入れ
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法
URL: http://www.aik.ac.jp/

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程動物管理科ドッグトレーナーコース)令和6年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			犬学	犬体名称、用語の理解。畜犬団体による形態、用途によるグループ分けを理解する。実際に犬種を観察しスタンダードを理解し特徴、性質を知る。	1通	28	1	○			○			○	
○			イヌの行動学	犬の行動と行動の発現の機序、問題行動の原因と対処の方法、予防方法を理解する。動物福祉に配慮した飼養管理やトレーニングを行う上で基礎となる考え方を身につけると共に、問題行動への対処法や必要な知識を身につける。	2通	30	2	○			○			○	
○			ドッグブリーディング	遺伝性疾患、望まれなかった出産。なぜ繁殖をするのかを理解することにより次世代の犬達を守って行くことに繋がります。命の大切さ 守って行く命を後世に伝えられる人材教育を育成。	1通	28	1	○			○			○	
○			ペット飼養管理学	愛犬飼育管理士の認定条件を満たすための知識をを身につける。	1通	28	1	○			○			○	
○			ペットフード &業界概論	・ペットフードのアドバイザーとして、その栄養学の基礎から販売まで、お客様対応に必要な知識について理解する。 ・また、本講座では、ペットのコンシェルジュ(お客様相談Q&A等)として応酬話法も模擬体験し、ペットに関するお客様相談に活かす。	2通	60	4	○			○			○	
○			ペット健康管理学	将来の職場や在学中に担当するペットの異常を早期発見できるように指導する	1通	28	1	○			○			○	
○			ドッグプレイニング	ドッグトレーナーとして動物愛護と適正飼養に関する専門的指導員の養成を目的にこれに答えられる精神、知識、技術、を身につけるための知識を習得する。	1通	##	8		○		○			○	○
○			D.I.N.G.O (ADICT-1)	D.I.N.G.O.(ADICT-ONE)のライセンス取得に必要とされる、犬の歴史・クリッカーの使用法穂を学ぶ。	1後	18	1		○		○			○	
○			ドッグコミュニケーション	犬の嗅覚を最大限に活かしたトレーニング方法と、犬のボディランゲージを読み取り観察眼を養う。ドッグスポーツとして有名なアジリティーを、クリーンランができるハンドリング技術を学ぶ。	2通	##	12		○		○			○	

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程動物管理科ドッグトレーナーコース)令和6年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ドッグトレーニング演習1	インストラクターとして必要な技術のアウトプットを中心とした授業展開を行うことで、より飼い主様を楽しませる話術や一般家庭犬に必要なトレーニング技術と知識を学ぶ。	2前	90	6		○		○		○		
○			ドッグトレーニング演習2	訓練士ととして必要な犬と向き合う忍耐力や、問題行動に向き合う。繊細な技術を学ぶことでトレーニングが困難な犬とのコミュニケーション方法や、リードコントロールを学ぶ。	2前	90	6		○		○		○		
	○		選択演習	インストラクター選考(家庭犬の訓練士)と訓練選考(災害救助犬等の訓練士)に分かれそれぞれの指導方法を学ぶ。	2後	##	12		○		○			○	
○			グルーミング実習	基本的なグルーミングを様々な犬種で学ぶ。犬種別のデモンストレーションに関しては、学生のグルーミングの進み具合に考慮して行う。	1通	##	5			○	○		○		
○			ドッグトレーニング	犬という動物を理解する・犬の行動の成り立ちを理解する・動物の福祉や倫理に配慮した科学的なトレーニングを学ぶ。	1通	##	5			○	○			○	
○			訓練実習	・犬のボディランゲージ・カーミングシグナルをよく知り、犬の動きに対して安全管理をするべきか、危険回避をするべきかを判断し行動に移せるように努力をする。 ・他のトレーナーへ配慮した心遣いや、犬のトレーニングに必要な観察眼を養う。	1通	##	5			○	○		○		
○			PDマネジメント	動物を飼う上で一番大切な飼育を学び知識・観察力を身に付ける。また、大中小型犬、幼犬・シニア犬、様々な犬種を扱う事でその個体に合わせたグルーミング技術を身に付ける	2通	##	6			○	○				
○			ケネル実習	PD飼育管理方法や知識、飼育環境整備、グループ作業による分担作業学習	1前	45	1			○	○		○		
○			業界インターンシップ	動物病院やペットショップ、動物関連施設にてインターンシップを行い、現場のサービスを学ぶ。	2後	##	5			○		○		○	○

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程動物管理科ドッグトレーナーコース)令和6年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			パソコン	Windowsの基本操作を理解し、学生生活でも社会人になっても役に立つWord文書作成、及びExcel表計算の基本機能や操作方法を学ぶ。また、情報化社会を生きる上で必要とされるネット利用のマナーの習得・情報検索を一部の講義と演習を組み合わせ実施する。	2前	26	1	○			○			○		
○			ビジネストレーニング	ビジネス・マナーの基本スキルの確立と応用マナーの学習。参加・実習型訓練形式。	1後	18	1	○			○				○	
○			就職ガイド2	動植物業界で求められる人材の育成。企業インターンシップや就職活動での必要な知識を身につけ内定へと繋げる。	2前	21	1	○			○			○		
○			自己理解&就職ガイド	個人が協調しあう「社会」にでるために、まずは自分自身を知る自己理解が重要です。この自己理解がしっかりできていれば、自身の進むべき方向性が把握でき、他者との協調がよりスムーズになります。そこでこの科目では下記3点を目的とし、1年生前期で自己理解を深めます。①自己理解の3つの方法を身につけ、人間力の土台となる自己理解の能力と自信を高める。②自分の個性について、より広くより深く理解する。③知識、能力面を含めて自分自身に自信を持って語るための自己分析シートを作成する。	1通	28	1	○			○			○		
○			コミュニケーション	コミュニケーションスキルを高めることを目的とし、傾聴や共感の手法について学ぶ。	1通・2通	55	2	○			○			○		
合計				23科目		1904単位時間(89単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
「卒業要件」 ①その年度の履修単位を取得すること。 ②1年次・2年次、各800時間以上、卒業時に計1700時間以上出席をしていること。 「履修方法」 全科目必修		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。